

30 公振連発第 2 号

平成 30 年 4 月 27 日

文部科学大臣 林 芳正 様

全国公民館振興市町村長連盟
会長 前田 穰(宮崎県綾町長)

「教育立国としての社会教育の充実」について(要望)

我が国の教育行政は一部から「学校教育偏重」と揶揄されながらも、文部科学省及び全国各地の教育委員会では「社会教育」の充実に邁進してまいりました。

このたび、教育委員会で所管している公民館の取り扱いを、弾力的に運用することを議論しているとのことですが、まさに社会教育は岐路に立たされています。文部科学省では組織再編や新たに「社会教育士」の称号を付与することなど、さまざまな改革を通じて、社会教育を発展させていこうとする動きに敬意と感謝を申し上げます。その改革を有意義なものとし、社会教育をさらなる高みへ昇華させることこそ、我が国の人々が支え合い、充実した生活を営み、日々の生活に感謝の気持ちを抱き、明日への希望をもつ「心のゆとり」をもたらすものと信じています。

については、社会教育に立脚した社会総掛かりの取り組みを行うために、別紙のとおり「要望書」を提出いたします。

以上